様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　8　年　5　月　13　日

茨城県知事　　殿

提出者
住　　所　茨城県水戸市東野町 167 番地の 2
氏　　名　足立建設株式会社
代表取締役　足立　誠一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　029-247-1084

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	足立建設株式会社（茨城県西地域各工事現場）
事業場の所在地	茨城県西地域各所
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

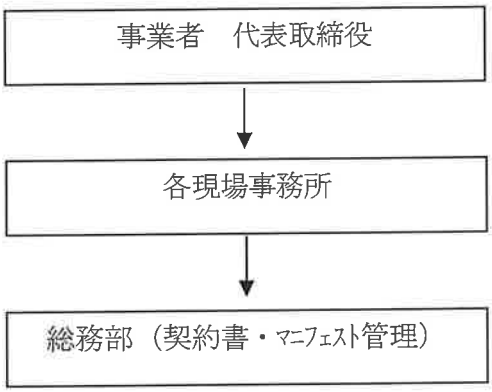
①事業の種類	建設業（総合工事業）
②事業の規模	直近の元請完成工事高　747,000 千円（令和 7 年 5 月期）5 月決算
③従業員数	34 人（令和 8 年 4 月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ｺﾝｶﾞﾗ→中間処分場へ委託→再生砕石 ｱｽｶﾞﾗ→中間処分場へ委託→再生路盤材 その他がれき類→中間処理場へ委託→再生原料 ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず→中間処理場へ委託→再生原料他埋立処分 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類→中間処理場へ委託→再生原料・燃料 石綿含有がれき→最終処分場へ委託→埋立処分 木くず→中間処理場へ委託→再生燃料ﾁｯﾌﾟ 繊維→中間処理場へ委託→再生原料 廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ→中間処理場へ委託→再生原料 混合廃棄物→中間処理場へ委託→分別再生原料他埋立処分 建設汚泥→中間処理場へ委託→再生原料

（日本工業規格 A 列 4 番）

茨城県
令 － 8. 5. 15
県西県民センター
受付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①　現状

【前年度（　令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排　　出　　量	2,262.54ｔ	t

（これまでに実施した取組）
・環境負荷への低減、
・廃棄物分別の徹底

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙参照	
排　　出　　量	1,225.53ｔ	t

（今後実施する予定の取組）
・現場作業員の産廃物処理の教育継続

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・ｺﾝｶﾞﾗ、ｱｽｶﾞﾗ、がれき類、ｶﾞﾗｽ陶磁器くず、廃ﾌﾟﾗ類、木くず、繊維くず、紙くず、廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、石綿含有材を混同しない。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・分別処理の教育継続

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

・特になし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・関連会社の再生砕石の利用促進</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>2,262.54 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>15.67 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>1,965.10 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・可能な限り再生利用業者へ委託する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙参照</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1,225.53t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>25.00t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1,081.50t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・可能な限り優良認定業者、再生利用業者を選定する。
・委託先処分業者は定期的に現地確認を実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

【 別紙 】

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	排出量		全処理委託料		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託料	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	15.54 t	15.00 t	15.54 t	15.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t
紙くず	2.10 t	2.00 t	2.10 t	2.00 t	t	t	1.10 t	1.50 t	t	t	t	t
木くず	42.84 t	40.00 t	42.84 t	40.00 t	6.51 t	10.00 t	21.51 t	30.00 t	t	t	t	t
繊維くず	0.59 t	0.50 t	0.59 t	0.50 t	t	t	t	t	t	t	t	t
ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず	3.43 t	3.00 t	3.43 t	3.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	16.12 t	15.00 t	16.12 t	15.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t
ｺﾝｸﾘｰﾄがら	1,892.09 t	1,000.00 t	1,892.09 t	1,000.00 t	t	t	1,892.09 t	1,000.00 t	t	t	t	t
ｱｽﾌｧﾙﾄがら	21.40 t	20.00 t	21.40 t	20.00 t	t	t	21.40 t	20.00 t	t	t	t	t
その他がれき類	87.68 t	80.00 t	87.68 t	80.00 t	t	t	29.00 t	30.00 t	t	t	t	t
石綿含有建材	18.67 t	10.00 t	18.67 t	10.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t
水銀使用製品	0.03 t	0.03 t	0.03 t	0.03 t	t	t	t	t	t	t	t	t
混合廃棄物	27.02 t	25.00 t	27.02 t	25.00 t	t	t	t	t	t	t	t	t
廃石綿等	6.00 t	5.00 t	6.00 t	5.00 t	6.00 t	5.00 t	t	t	t	t	t	t
燃え殻	129.03 t	10.00 t	129.03 t	10.00 t	3.16 t	10.00 t	t	t	t	t	t	t
合 計	2,262.54 t	1,225.53 t	2,262.54 t	1,225.53 t	15.67 t	25.00 t	1,965.10 t	1,081.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t